

1 墨田区学校支援ネットワーク事業実施経過

(1) 平成 20 年度 文部科学省「学校支援地域本部事業」開始

東京都教育委員会生涯学習課から各区市町村へ委託事業受入への意向調査
教育基本法の改訂を受け、これからの学校教育の課題の解決は、学校だけが担うのではなく、
地域・企業等が分担する。そのための学校・家庭・地域を結ぶ新たなシステムを提案

(2) 平成 21 年度～22 年度 墨田区教育委員会は、国庫委託事業として学校支援ネットワーク事業（国事業名：学校支援地域本部事業）を実施。

平成 23 年度以降は国庫補助事業として実施している。

【発足当時の活動】

- ・支援対象を区内 13 中学校からスタート
 - ・学校ニーズの把握…地域コーディネータの学校訪問、アンケート調査等
 - ・キャリア教育への期待…「職場体験学習」の受け入れ事業所の登録（データベース）
- ① 協力団体数… 17 団体
 - ・東京商工会議所 ・経済同友会 ・日本 IBM ・JC ・ボランティアセンター等
 - ② 授業メニュー数… 20 メニュー
 - ・「ようこそ地域の先輩」「マナー講習」「〇〇になるには」「経営者による出張授業」等
 - ③ 課題と総括
 - ・授業メニュー数が不足 ・中学校は外部講師導入が難しい

(3) 平成 21 年度～28 年度の活動

- ① 小学校への働きかけ、メニュー数拡大への努力
- ② メニュー拡大は学校・事業所双方の願い。事業は、飛躍的に拡大
8 年間で授業メニュー発行数は約 1.7 倍、実施学校数は約 1.2 倍、協力団体数は約 1.7 倍
- ③ 27 年度から、事業の一部を NPO スカイ学校支援ネットワークセンターに委託する

回	年度	ニュース発行数	実施学校数	協力団体数	派遣講師数	児童生徒数
1	21 年度	1 号～20 号 (発行数 20)	延べ 29 校	17 団体	165 名	3,981 名
2	22 年度	21 号～66 号 (発行数 46)	延べ 70 校	63 団体	488 名	6,867 名
3	23 年度	67 号～118 号 (発行数 52)	延べ 188 校 授業回数 271 回	109 団体	975 名	14,447 名
4	24 年度	119 号～188 号 (発行数 70)	延べ 264 校 授業回数 486 回	190 団体	1,015 名	18,913 名
5	25 年度	189 号～250 号 (発行数 62)	延べ 307 校 授業回数 516 回	260 団体	1,110 名	22,112 名
6	26 年度	251 号～288 号 (発行数 38)	延べ 307 校 授業回数 468 回	285 団体	1,110 名	22,397 名
7	27 年度	289 号～325 号 (発行数 26)	延べ 316 校 授業回数 513 回	302 団体	1,172 名	22,852 名
8	28 年度 1/20 現在	326 号～349 号 (発行数 24)	延べ 355 校 授業回数 581 回	289 団体	1,286 名	27,455 名

(4) 平成28年度 「実績と成果」 (墨田区立中学校 10校、小学校 25校 計 35校)
 全メニュー数 304 の中で実施されたメニュー125 (約41%) 実施学校数延べ 355 校

① 28年度 特に実施数の多かった40メニュー

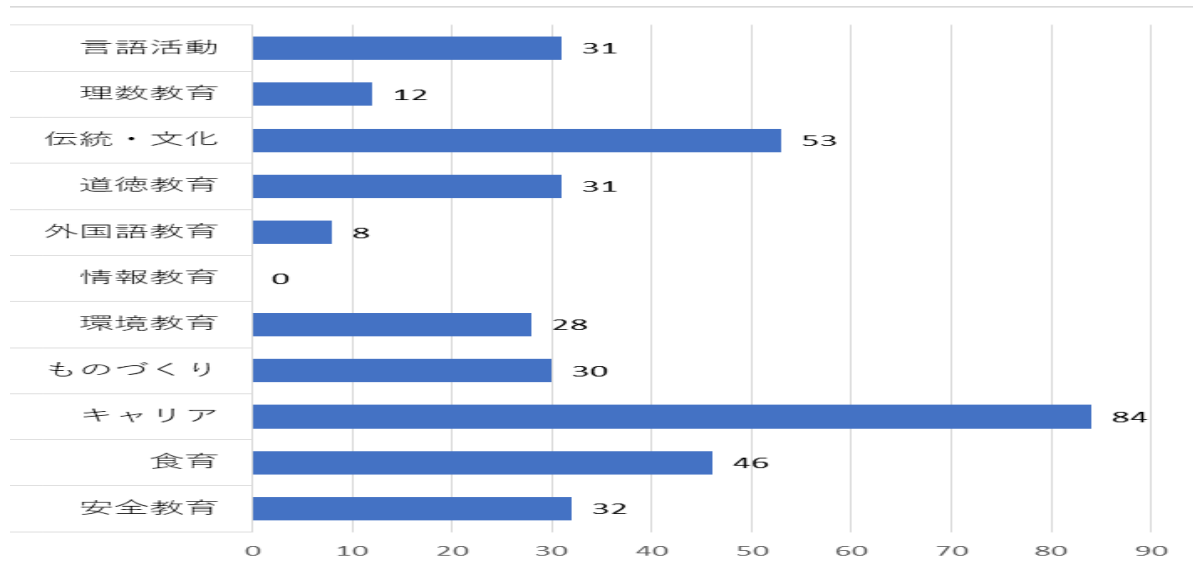
「租税教室」 税務署、都税事務所、税理士、法人会	30校	「こどもダンス教室」NPOコモンビート	5校
「水道キャラバン」水道キャラバンスタッフ東京都水道局	23校	「色々な国の言葉を話してみよう」ヒッポ・ファミリークラブ	5校
「昔のくらし体験」すみだ郷土文化資料館	20校	「いのちってすばらしい」他 心の相談室ミントグリーン他	5校
「すみだ清掃事務所の出前授業」すみだ清掃事務所	18校	「点字を読んでみよう」点訳キツツキ	5校
「薬物乱用防止教室」都薬防推進委墨田地区協議会・他	16校	「コミュニケーションを楽しもう」ドラマケーション	5校
「わがまちすみだの歴史発見」すみだ郷土文化資料館	14校	「職場体験事前学習」東京東信金・第一ホテル両国	5校
「すみだまち処職場体験」墨田区観光協会・他	10校	「命の大切さを考える」秋田昌子氏	4校
「ぴかぴかに光るどろ団子」ジャパンホームシールド(株)	8校	「墨田の工場見学」山口産業	4校
「北斎の授業」(公財)墨田区文化振興財団	8校	「日本の昔語り」藤山光子氏・東京民話街会員	4校
「墨流し・表札をつくろう」他(一社)ディレクトフォース	8校	「相手の身になって考えよう」バーミリアンハート	3校
「Les' ダンス」関 巴瑠花氏	8校	「JICA国際協力出前授業」JICA東京国際センター	3校
「おなか元気教室」東京ヤクルト販売(株)	8校	「生け花で自分を表現」岡田亜紀子氏	3校
「ボランティアスクール」すみだボランティアセンター	7校	「美しい日本語の発声」演劇集団未踏	3校
「明治食育セミナー」(株)明治	7校	「おいしいお茶の入れ方」(株)伊藤園	3校
「ケータイスマホ安全教室」KDDI(株)、NTTドコモ	7校	「バイオリンを通して聴く力感じる心…」久米晶子	3校
「ご飯をお米で炊けるかな・他」(株)玄米酵素	7校	「やっちゃだめより危ないの体感が大事」危険学プロジェクト	3校
「どんぐりやじろべい」都立産業技術高等専門学校	7校	「互いに思いやり仲間づくり」東京弁護士会	3校
「フラワーアレンジ・他」花育アドバイザー	6校	「姿勢を正して元気100倍」日本カイロプラクティック連	3校
「お琴の演奏と日本の文化」鈴木洋子氏 音の樹	6校	「お米の出前授業」生協 パルスシステム東京	3校
「どれだけ君は知っているカニ」他 すみだ水族館	6校	「みんなで楽しむアナログゲーム」アイデアツリーヒラメキ	3校

★2回実施メニュー ……16メニュー

「あかりのエコ教室」パナソニック(株)、「安心教室」ALSOK、「おいしさって何だろう」ハーゲンダッツジャパン、「お金博士になろう」SMBCコンシューマーファイナンス、「音あそび」渋谷るり子氏、「カラダで言葉を表現しよう」NPO現代朗読協会、「魚には骨がある」水産物市場改善協会、「新聞づくりのポイント」毎日新聞社、「楽しいおやつを食べ方」カルビー(株)、「食べ物のありがたみ」庄司美幸氏、「認知症ってなんだろう」オレンジステーション、「郷土かるたで歴史を学ぶ」すみだ郷土文化資料館、「一人よりみんながやったら楽しいね」劇団空間エンジン、「フットサル・フーガ墨田」スポーツ振興課、「モザイクタイルで表札を作ろう」パワーワーク、「友だちづくりのポイント」アースマザーズ

★1回実施メニュー ……48メニュー ★これ以外にクラブ・部活動として年間通して指導あり

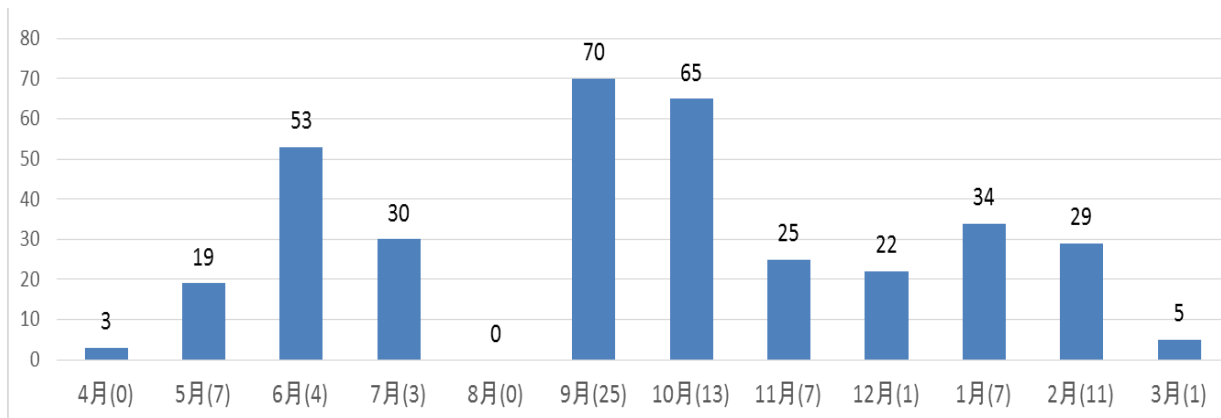
② 28年度 「派遣分野別」実施状況(合計延べ355校)(1/20現在)



《考察》 今年も「租税教育」、「水道キャラバン」などキャリア教育の希望が非常に多い。中学校では「ソラマチまち処」や「職場体験事前学習」など職場体験に関するキャリア教育の希望が多い。今年度の特徴は、すみだ郷土文化資料館の「昔のくらしを体験しよう」、「わが町すみだの歴史発見」、墨田区文化振興財団の「北斎の作品を鑑賞しよう」など伝統文化の希望が増えたことである。引き続き小学校では「生活習慣・健康・体力づくり」への関心が高く、「おなか元気教室」、「食育セミナー」等「食育」を積極的に取り入れている。

各学校は、これら出前授業メニューを教育課程に位置づけ、有効に活用するとともに「道徳授業地区公開講座」、「セーフティー教室」、「職場体験」など、地域や保護者等と一緒に「開かれた教育」に有効に活用している。

③ 28年度 「月別実施状況」(カッコ内は、土日実施)(1/20 現在 355 件)



《考察》 9～10月は申込み校が多く、この期間の授業はできるだけ早く申し込む必要がある。土・日曜授業の活用は79回で約22%、学校公開日週間など、地域や保護者に公開された授業で活用されている。

2 事業の総括と今後の方向性

(1) 事業の総括

- ・学校や企業等多くの協力団体の皆さまのご協力により、申込数、外部講師は件数なども年々着実に拡大し十分な評価をえることができた。
- ・下記 子ども達、学校、企業等からの感想にあるように、本事業の趣旨や目的が十分に理解されており、教育活動に役立ち大いに期待されている。
- ・教育委員会の責任で事業所を選択し、アドバイスをした上で講師やメニューを紹介しているので、学校も安心して教育課程に位置づけ有効に活用を進めている。

(2) 子どもたち、教師・学校、協力団体等の感想

子どもたちの様子	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な体験を通して新たな発見や気づき、驚き、感動がある ・実物があり、触ったり匂いを嗅いだりすることで興味がわき学習意欲も高まった ・外部の人による授業は多種多様で とにかく楽しい ・多くの人に見てもらい多様な能力が発揮できた ・実社会を知り、なぜ勉強するのか理解し、学習意欲が高まった ・多くの魅力ある大人に接し、将来への夢が広がった ・ふだん自分の意見を言う機会の少ない子が、今回の授業で人前で堂々と発表していた
----------	---

<p>学校 教師 保護者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループに講師の方がついてくんだり、指導が行き届き活動がスムーズに行われた ・沢山の課題に追われ、教材開発等に対応するゆとりや時間が持ちにくいので助かる ・カリキュラムに合わせた活用ができ、授業に役立っている ・担任は一人、色々なタイプの役割をすることが難しいので助かる ・外部講師により子どもの違った面や多様な変化が指導に役立つ ・学校でやっていることを外部の人から具体的に言っていただき効果が期待できる ・材料や道具を用意していただけるのでありがたい ・やはり専門分野の人の力はすごい（参考になる） ・多くの人が集まり学校が開かれていく ・来訪者が多くなり、子どもたちの挨拶が良くなってきた ・多くの学校で土曜授業や学校公開などで活用、親子で考える機会が増えた ・保護者に向けてもメッセージがあり大変参考になった ・学校をよく知る機会が増え、先生の大変さや苦勞を理解できた
<p>企業 協力団体等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちを教えることによって、逆に我々が元気ややりがいを得た ・生徒さんたちが大変熱心に話を聞き喜んで授業に参加してくれて大変嬉しかった ・生徒さんの感想文をいただき大変励みとなった ・学校で子どもたちのために何か役に立ちたいと思っていたので実現できよかった ・企業イメージアップ、将来の顧客確保に役立っている ・社員同士のコミュニケーションやモチベーションアップ、自社愛につながる ・ネットワーク本部より、学校へ入る際の心構えや学校の様子など分かりやすく教えていただき、自信をもって授業が行なえる。 ・他の自治体にはないシステムであり大変助かっている。教育委員会が窓口となってくれるこのような方法・内容を広く他の地域にも広げて欲しい

(3) 課題・今後の方向性

○外部講師の受入体制について

- ・本事業は、外部の方の好意・ボランティアで成り立っているため、学校からの連絡や受け入れ態勢には十分配慮し、礼状や感想文送付などにより感謝の気持ちを伝えることが必要である。
- ・PTAとの連携を深め、公開日などにはPTAや保護者も協力して対応していただくような流れを作っていただきたい。

○申込について

- ・「事業所の専用申込」もあるが、その場合でも決定したら本部までご連絡していただきたい。
- ・内容・方法など事業所によってかなり状況が違うので十分な事前打ち合わせが必要である。

○今後の方向性

- ・日常の授業とより深く連動した体系的・継続的な「出前授業」メニューの構築
- ・教科領域等の内容における指導課程の一部として位置づけられた「出前授業」メニューモデルの構築及び墨田区独自の出前授業メニューの開発
- ・外部講師に依存しなくても実施可能で「出前授業」に代替する特別授業の指導案の作成

3 平成28年度の事業所・学校からのアンケート結果

(1) 協力団体・事業所からの評価・感想など

ネットワークニュースに掲載されている全事業所へ下記アンケートを実施した。(12月)
(アンケート回収総数85件)

「墨田区学校支援ネットワーク事業」について、下記の質問にご回答をお願いします。
※ 本年度「出前事業の実施」が無かった場合は、**質問3～4**についてのみ、お答えください。
(該当箇所には○印をつけ、またご意見・ご感想等がありましたらご記入ください。)

質問1 児童や生徒の授業への反応などについて

- 1 大変良かった 2 まあまあ良かった 3 あまり良くなかった 4 良くなかった
■ ご意見があれば→

質問2 学校の印象や教師の対応などについて

- 1 大変良かった 2 まあまあ良かった 3 あまり良くなかった 4 良くなかった
■ ご意見があれば→

質問3 墨田区の「学校支援ネットワーク事業」について

- ご意見があれば→

質問4 平成29年度も、これまでの「出前事業」を継続していただけますか？

- 1 継続できます。 2 継続できません
■ 継続していただくための条件や、継続できない理由がありましたらご記入ください。

質問1 児童・生徒の授業への取り組む姿勢や反応について (本年度授業を実施した52事業所)

◎大変良かった(44件) 84.6% ○良かった(6件) 11.8%

▲あまり良くなかった(2件) ▼良くなかった(0件) … 全ての事業所より良い評価を受けている。

【主な感想】

「各教室、児童・生徒が積極的、かつ楽しんでくれた。」、「核家化により高齢者に接する機会も少なく、認知症に対してもどれほど関心を持って聞いてもらえるかと不安だったが、講座前から認知度もあり、グループワークを通して柔軟な考え方ができていて、活気ある講座ができました。」、「授業内容が伝わり、今後の「理科実験」に役立つ。」

質問2 学校の印象や先生方の対応について (本年度授業を実施した52事業所)

◎大変良かった(37件) 71.2% ○良かった(10件) 21.1%

▲あまり良くなかった(4件) ▼良くなかった(0件) … 全ての事業所より良い評価を受けている。

【主な感想】

「授業中の対応もよく、終了後、児童・生徒全員のお礼状を送ってくれた。」、「講座の準備段階からご協力頂きグループワークでは生徒の意見を聞きながらより突き詰めていけるような助言を頂きました。」、「授業内容は児童だけでなく、保護者の方々にも是非お聞き頂くと効果的。」、「先生方の準備に感謝します。」、「校長先生や副校長先生が参加され、一層熱を帯びたカリキュラムになりました。」、「先生方も興味をもってコメント下さった。」

質問3 学校支援ネットワーク本部への感想やご意見について

【主な感想】

「教育委員会等の関係機関を有効に使って頂きたい。」、「色々サポートして頂いたり、授業を見学して頂いて感謝しております。」、「意義ある取り組みだと思います。」、「今後も活用を考えておりますので、よろしくお願いします。」、「児童や生徒にとって大変良き体験ができますので、素晴らしい企画だと思います。」、「PTAを対象とした講座開催の窓口になって欲しい。」、「出前授業が更に、小、中校で採用されるように働きかけたい。」、「ほかの教育委員会に広まってもよいと思います。」、「企業と学校を結び、学びの機会を提供する取組です」

(2) 学校（教員）からの主な意見や感想など

たくさんの先生方から貴重なご意見をいただきました。下記はその中の一部です。

ごまの授業で、すり鉢を知らない子供が多く、また食材としてよく登場する、ごまについての知識が増え、関心をもつことができ、食育の良き授業となりました。

たくさんのスライドと共に講話していただき、とても分かりやすかった。「トラさん」の話に涙している生徒もいましたし、自分のことととらえて、話に聞き入っていました。

親子で楽しく、体操していました。それまであまり馴染みがなかった「花」の歌も練習の中で何度も聴き、口ずさむ様子が見られました。今後の体育の時間に継続して取り組める。

子供たちにとって興味・関心を引き、充実感を得られるような授業でした。身近なお菓子について様々なことを学習でき、嬉しそうな様子でした。

とてもわかりやすく話がまとめられ、視覚的にも子ども達が集中しやすかった。また小腸や大腸の長さ（菌の重さ）など体験することで、発見や驚きがあり心にも残ったようだ。毎年1年生対象にできるように授業の継続をお願いしたい。

学年での総合学習「国際理解」と関連して、北斎と世界のつながりについても重点をおいて話して頂きました。すみだと北斎の関わりについても理解が深まった。子どもだけではなく、保護者にもぜひ公開できたら良いと思いました。

たいへん分かりやすく、1年生の実態に合わせたお話で、素晴らしいと思いました。骨・カルシウムの学習をしてから、バター作り体験は意味のあるものになり、良い学習ができました。カルシウムが骨の大事な栄養と学び関心を持って話に聞き入った。

「いかのおすし」のキーワードに沿って、グループに分かれてロールプレイングをしながら学んでいく流れがとても分かりやすかった。また笛の使い方や注意もきちんと話して頂き、理解できた。

お茶の入れ方による味の違いを感じられることが良かった。1度ではうまく入れられない子どもたちが、教えてもらったやり方で2回行いその違いを感じていた。大変ご丁寧な対応感謝します。

生徒の実態に合わせたわかりやすい内容でした。「ことば」というより「国語」に興味・関心をもった生徒たちが多かった。講師の先生にクラス毎の授業、ご自身のPCご持参に感謝します。

スマホをもっている子も年々増加しており、ゲームの事例後の映像は興味深かった。また高学年は事例を多く話して頂いたのが良かった。身近な内容で関心が持てたし、45分間、集中して話を聞いていた。

実際に生きたカニや魚を観察することができてとても喜んでいました。関心が高まることで知識も定着しやすい内容でした。(3年)、この学習から5年の水産業や6年の環境の学習にもつながっていく。

